



1歳児：「遊びの名人！」の巻

① 高さ7センチ、幅30センチ程度の一本橋は、子どもたちの大好きな遊びの一つです。

Aちゃんは、走り抜けます

Bちゃんは、ゆっくりとバランスをとって歩きます

Cちゃんは、ぴょんぴょんうさぎになってわたります

Dちゃんは、かえるになって四つん這いでジャンプしています

Eちゃんは、さいごにぴょん！と言い、ジャンプして降ります

Fちゃんは、見守っている先生にダイブします

遊び方は12人いれば12通りです。



めめめポイント①

- ・自分の身体をどう使おうか、考えているよ！
- ・友だちの姿をじっと見ている子どももいるよ。
- ・友だちがやっていることを真似してみようとする子どもも出てきているよ。
- ・楽しいと、自然に歓声がでるよ！

②一本橋が、いっぱい遊んだあのお茶休憩スペースに様変わりです！



③階段上って滑る遊び場でも、自由に休憩しています。

<めめめポイント>

① 遊び方は無限なのです。「一本橋はこうやって遊ぶだけね」と決めていないことで、子どもたちが思い思いに渡り方を考えて楽しんでいます。

(主体性・意欲・思考力・応用力) **好きの芽・遊びの芽・学びの芽**

② 「お茶休憩しよ～」という先生の声に子どもたちが集まってきました。お茶を飲みながら隣の友だちに視線を送り、にっこり♡（たのしかったね・おちゃおいしいね・いっしょやね）どんな思いを伝えたいのかな？誰かに自分の思いをわかってもらいたい、伝えたい思いが発語のきっかけになります！

(人への興味・伝えたい気持ち・言語の獲得) **学びの芽**

③ 遊び方がもちろん、休憩の仕方も無限です。自分の身体の大きさや動かし方など、あらゆる動きで獲得していきます。

(体幹をつくる・運動能力) **遊びの芽・学びの芽**

